

事後評価結果（平成27年度）

担当課：東北地方整備局道路計画第一課
 担当課長名：金森 滋

事業名	一般国道7号 <small>いしかわ</small> 石川バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自： <small>ひろさき</small> 青森県弘前市大字石川字留岡 至： <small>ひろさき</small> 青森県弘前市大字堀越字川合	延長	4.6 km		

事業概要

一般国道7号は、新潟県新潟市から青森県青森市へ至る総延長約561kmの主要な幹線道路である。
 一般国道7号石川バイパスは、青森県弘前市大字石川字留岡から青森県弘前市大字堀越字川合に至る延長4.6kmの4車線道路であり、平成23年度に全線4車線で開通している。

事業の目的・必要性

一般国道7号石川バイパスは、弘前市街地及び藤崎町内の国道7号の交通混雑の解消、交通安全の確保等を目的とした事業である。

事業概要図

【位置図】
石川バイパス

【事業概要】

【標準断面図】

単位：m

24.5 (4車線)							
2.5	1.75	7.0	2.0	7.0	1.75	2.5	

事業の 効果 等	事業期間	事業化	昭和48年度	用地着手	昭和50年度	供用年	(当初) -/-	変動	一倍
		都市計画決定	昭和48年度	工事着手	昭和53年度	(暫定/完成)	(実績) -/H23		
	事業費	計画時	(名目値) -/30億円	実績	(名目値) -/30億円			変動	一倍
		(暫定/完成)	(実質値) -/37億円	(暫定/完成)	(実質値) -/31億円				
	交通量 (当該路線)	計画時	(H21)	実績	(H27)			変動	89.7%
		(暫定/完成)	-/20,300台/日	(暫定/完成)	-/18,200台/日				
	旅行速度向上	29.4km/h → 40.4km/h		交通事故減少		20件/年 → 11件/年			
	(供用前現道→当該路線)	(供用前年次) H15-19年	(供用後年次) H24年	(供用前現道→供用後現道)	(供用前年次) H15年	(供用後年次) H25年			

事業の 効果等	費用対効果 分析結果 (再評価)	B/C 7.8	総費用 39億円 事業費：28億円 維持管理費：11億円	総便益 305億円 走行時間短縮便益：288億円 走行経費減少便益：9.6億円 交通事故減少便益：8.0億円	基準年 平成21年
	費用対効果 分析結果 (事後)	B/C 6.8	総費用 64億円 事業費：34億円 維持管理費：30億円	総便益 434億円 走行時間短縮便益：411億円 走行経費減少便益：13億円 交通事故減少便益：10億円	基準年 平成27年
	事業遅延によるコスト増		費用増加額	便益減少額	
事業遅延の理由 ・特になし					
客観的評価指標に対応する事後評価項目 ①現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率 ・当該区間の渋滞損失時間：（開通前：252千人・時間/年 ⇒ 17千人・時間/年）【約9割削減】 ②農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上の状況 ・弘前青果市場～関東・関西方面市場 ・所要時間（弘前青果市場～大鰐弘前IC、H17：18分 ⇒ H27：13分）【約5分短縮】 ・りんご出荷量（H22：約5万ト ⇒ H26：約6万ト）【約1万ト増加】 ③拠点開発プロジェクトの支援に関する効果 ・弘前バイパス整備により弘前オフィスアルカディア（工業団地）と大鰐弘前ICとの連携強化 ・弘前オフィスアルカディア～大鰐弘前IC（H17：9分 ⇒ H27：7分）【約2分短縮】 ・弘前市の年間製造品出荷額等（H15：1,343億円 ⇒ H25：1,941億円）【約1.4倍】 ④主要な観光地へのアクセス向上による効果 ・弘前城（弘前さくらまつり会場）へのアクセス性向上 ・弘前城～大鰐弘前IC（H17：24分 ⇒ H27：22分）【約2分短縮】 ・弘前さくらまつり来訪者数（H23：約201万人 ⇒ H27：約230万人）【約30万人増】 <p style="text-align: right;">他4項目に該当</p>					
その他評価すべきと判断した項目 特になし					
事業による 環境変化	環境影響評価に対応する項目 ・評価対象区間については、工事の実施及び完成後においても、環境への影響は確認されていない。				
	その他評価すべきと判断した項目 ・特になし				
事業評価委員会の意見 ・事業当初の目的に対して効果を発現しており、対応方針（案）のとおり、「今後の事後評価及び改善措置」の必要はない」は妥当					
事業を巡る社会経済情勢等の変化 ○新幹線の整備状況 ・東北新幹線 平成22年12月 東北新幹線 八戸～新青森間（81.8km） ○高規格幹線道路の整備状況 ・東北縦貫自動車道弘前線 昭和61年7月 全線開通 ・津軽自動車道 平成17年12月 浪岡徳才子～五所川原北IC開通 平成26年11月 五所川原北IC～つがる柏IC開通					
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 ・事業当初の目的に対し、弘前市内における国道7号の交通混雑緩和や交通安全の確保等の効果を発現しており、今後の事後評価の必要性はない。 ・想定された効果についても発揮されており、当面、改善措置の必要性はない。					
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 ・特になし					
その他特記事項 ・特になし					

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。